

第12回宮城マスター検定1級試験解答と解説

番号	正解		解説
問1	4	シャクヤク	色麻町愛宕山公園では約1万株のシャクヤクが植えられており、毎年5月下旬から6月上旬にかけ赤や白、ピンクの花が咲き乱れます。
問2	2	東和町	登米市東和町を流れる鱒淵川は北上川の支流で、馬ノ足から寺内地区岩淵橋までの約4kmの区間は「東和町ゲンジボタル生息地」として天然記念物に指定されています。
問3	4	養賢堂という仙台藩の学校	明治4年に、仙台城内にあった藩庁は、現在の県庁敷地内にあった藩校養賢堂に仙台県庁として移り、翌明治5年に宮城県庁と改称されました。
問4	1	加護坊山	大崎市にある標高224メートルの加護坊山に咲く桜の種類は、県内随一で1か月に渡って楽しめます。山頂からは360度の景色が楽しめ、栗駒、船形、蔵王の山々や遠く太平洋まで望めます。付近には、パークゴルフ場やレストラン、キャンプ場もあります。
問5	2	ガリウム	宮城県のスキーワックスメーカー「ガリウム」は、雪面と滑走面の摩擦を小さくする特殊な金属のイオン入りワックスを世界に先駆けて開発し、令和2年に第12回の「みやぎ優れMONO」に認定されています。その金属名の「ガリウム」は会社の名前に採用されています。
問6	2	約1200本	「白石川堤一目千本桜」のほか、「船岡城址公園」、「太陽の村」、「陸上自衛隊船岡駐屯地」が、「柴田の四大桜」と言われています。
問7	2	つるむらさき	蔵王町などで栽培され、作付面積、出荷量ともに宮城県は全国でトップクラスです。ビタミンやカロテンを多く含み、カルシウムはほうれんそうの約3倍。加熱すると香りとぬめりが出て、独特の食感になります。和え物、天ぷら、お浸し、煮びたし、炒め物などの料理で味わわれています。
問8	1	小麦粉	「はっと」は小麦粉に水を加えてよく練って伸ばし、汁に入れた「すいとん」の一種です。「油麩」は小麦粉を水にさらして取り出したグルテンをこねて油で揚げたものです。
問9	4	83%	明治37年に気仙沼市の鹿折金山で発見された巨大な金鉱石は日本最大の金塊で、金鉱石品位で当時の世界記録を誇りました。セントルイス万国博覧会に出展され「モンスターゴールド」と呼ばれた金塊は重さ2.25kg、金含有率83%にのびりました。
問10	2	玉蟲左太夫	玉蟲左太夫は、万延元年(1860年)、日米修好通商条約批准書交換の為、幕府使節団の一員として渡米しました。帰路は大西洋、インド洋を航海し、10か月に渡る世界一周の記録は「航米日録」として仙台藩主へ献上されました。戊辰戦争後、戦犯として捕らえられ切腹となりました。「航米日録」にはビールに関する記述もあり、現在は仙台市博物館に保管されています。
問11	3	初午	「米川の水かぶり」が行われる「初午」(はつうま)は、毎年2月の最初の午(うま)の日で、この日は昔から火事に注意する「火の気」の日とされ、各地で防災や火伏せの行事が行われます。
問12	2	生糸	気候が養蚕に適しており、生糸を紡ぐのに必要な水が豊富だったため、現在の南三陸町入谷地区では質のよい絹が生産されました。「金華山」と名付けられた入谷の絹は、伊達藩最高の品質と認められ、全国的に有名な仙台平織袴地を生み出しました。
問13	2	12丁	花山鉄砲まつりは藩政時代にこの地を治めた領主の子供の健康回復を祝って御嶽神社に捧げた礼砲の一斉射撃が始まりと言われています。祭りでは鉄砲組の12丁の火縄銃が一斉に礼砲を撃ち鳴らします。
問14	2	石巻市	「みやぎ東日本大震災津波伝承館」は令和3年6月、石巻南浜津波復興祈念公園内に整備され、震災の記憶と教訓を伝えるとともに、各地の伝承施設や語り部団体などを紹介しています。
問15	3	リガーレ仙台	リガーレ仙台は仙台市をホームタウンとしてVリーグ加入を目指している女子バレーボールチームです。チーム名の「リガーレ」はつなぐ、結ぶを意味するラテン語が由来となっています。

第12回宮城マスター検定1級試験解答と解説

番号	正解		解説
問16	1	A-5・B-5	仙台牛とは、黒毛和種であり、仙台牛生産登録農家が宮城県で肥育した牛肉で、枝肉取引規格がA-5・B-5である牛肉のことです。仙台牛は全国の市場においても人気の高い牛肉で、「品質」「風味」ともに高い評価を受け全国の銘柄牛の中でも最高級の牛肉とされています。
問17	2	あやめ草	「あやめ草 足に結ん 草鞋の緒」は、離仙の朝、わらじ二足などを贈った仙台の俳人・北野加之への感謝の気持ちを詠じたものです。「行春や鳥啼き魚の目は泪」(千住)、「庭掃て出ばや寺に散る柳」(加賀＝全昌寺)、「月清し遊行の持てる砂の上」(敦賀)は、いずれも奥の細道から。
問18	3	種まき坊主	4月下旬、栗駒山の雪がとけた斜面に「種まき坊主」の雪形が現れ、先人たちは田植え時期の目安にしました。宮城県側から見える栗駒山には、馬の形をした「駒姿」も登場します。
問19	3	高橋由一	「宮城県庁門前図」は明治14年(1881年)当時の宮城県庁を描いたもので、宮城県が高橋由一に依頼して制作されました。初代の宮城県庁は仙台藩の養賢堂だった建物です。他の選択肢の画家・彫刻家も、宮城県美術館に作品が収蔵されています。
問20	4	国連食糧農業機関(FAO)	大崎耕土は、「農業を支える巧みな水管理システム」「多様な生物と共生する水田農業」「農業と結びついた伝統的な農文化」「豊かな農村景観(ランドスケープ)」「大崎耕土がはぐくむ食文化」がポイントとなり、国連食糧農業機関(FAO)により世界農業遺産に認定されました。
問21	4	トウモロコシ	国土の保全、良好な景観の形成、伝統文化の継承等に大きな役割を果たした「棚田」。その保全活動推進を目的として平成11年、棚田134地区が「日本の棚田百選」として認定されました。認定から20年以上が経過し、令和4年、改めて優良な棚田を「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～(ポスト棚田百選)」が選定されました。宮城県からは丸森町大張沢尻地区と登米市津山町沢田地区の2か所が選ばれました。
問22	3	金津七夕	角田市尾山の金津地区に伝承される、子どもの無事な成長や豊作、虫除けなどを祈願する七夕行事です。毎年8月第1土曜日の夜に、子どもたちが竹の棒に提灯を数個つけた作り物を各自が手に持ち、和歌をうたいながら地区を2度練り歩きます。平成25年に国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されました。
問23	4	見守り保存	「旧女川交番」は昭和55年に建てられた鉄筋コンクリート造2階の建物で、津波の引き波により現在の位置に横倒しになりました。保存に当たっては、様々な観点から町民などが議論を重ね、経年劣化を許容する「見守り保存」の方針が決められました。
問24	4	明治9年(1876年)	明治5年(1872年)に仙台県から宮城県に名称が変わりましたが、現在と同じ県域となったのは明治9年のことです。
問25	4	経文	田東山(標高512メートル)の山頂にある経塚(お経を埋めた塚)群。ここは修験の山として知られ、12世紀に“黄金文化”を花開かせた岩手県平泉の藤原秀衡はこの山を篤く信仰しました。3つの寺や70を超える僧坊を作り、山頂の11基の経塚からは青銅製の経筒と経巻(法華経)が発見されました。5月にはツツジの花で真っ赤に染まる霊峰です。
問26	2	シラス	「シラス」はカタクチイワシやマイワシなど、イワシ類の仔魚のことをいいます。県内のシラス漁の操業期間は7月から11月で、「1艘曳き(いっそうびき): 1隻の船で網を曳く」という漁法により漁獲されます。
問27	3	警察資料館	山添喜三郎は、明治6年(1873年)に開催されたウイーン万国博覧会では、神楽殿などの日本建築を設計監督するなど若くしてすぐれた才能を発揮し、生涯にわたり数々の作品を残しました。

第12回宮城マスター検定1級試験解答と解説

番号	正解		解説
問28	3	安藤家本陣	滑津大滝のほど近くに建つ安藤家本陣は、江戸時代後期、参勤交代で使われた大名宿で、街道に面して切妻破風(きりつまはふ)に懸魚をつけた玄関があり、大名が家来を謁見する上段の間、寝床を守る殿居の間などがそのまま残っています。屋根は茅葺、その棟上に置かれたくらかけは、この辺の特徴で、歴史的風俗を漂わせています。安藤家は天保期以降に滑津の肝煎検断・本陣を勤めました。
問29	1	柴田農林高校	「全国和牛能力共進会」は、「和牛のオリンピック」とも呼ばれ、5年に一度、全国から優秀な和牛が一堂に集まり、育種改良の成果を競い、能力の向上を目指す大会で、平成29年9月7日から11日まで宮城県仙台市の夢メッセみやぎ等を会場に宮城県で初開催されました。
問30	3	昭和38年	「ササニシキ」は、昭和38年にデビューして以来、50年以上にわたって日本を代表する品種です。平成5年の大冷害をきっかけに作付面積が激減しましたが、程よい固さと上品でさっぱりとした食感、そして飽きの来ないおいしさは、今でも多くの根強いファンを持っています。令和5年に生誕60周年を迎えます。
問31	2	温湯山荘 寒湯番所	花山温泉温湯山荘の隣には、江戸時代に関所として建設された総ケヤキ造りの寒湯番所が残っており、国の史跡に指定されています。
問32	3	白鳥省吾	白鳥省吾は明治23年(1890年)栗原市築館に生まれた大正期を代表する「民衆詩派」の詩人で、築館小学校など県内の多くの小中学校の校歌を作詞しました。選択肢の正宗白鳥は小説家、土井晩翠は仙台出身の詩人・英文学者、海鋒義美は作曲家です。
問33	3	岩手・宮城内陸地震	平成27年に認定された栗駒山麓ジオパークは、平成20年の岩手・宮城内陸地震で発生した栗駒山の大規模な地すべりをきっかけとしています。現在は旧栗駒小学校に作られた栗駒山麓ジオパークビジターセンターを拠点に情報発信を行っています。
問34	2	4回目	仙台育英学園高校の甲子園決勝戦は、夏の大会では平成元年の71回大会の帝京戦、平成27年の97回大会の東海大相模戦、令和4年の104回大会の3回と、平成13年春の第73回選抜大会の常総学院戦があり、あわせて4回目の挑戦でした。なお、宮城県勢としては平成15年の夏の第85回大会で東北高校が決勝戦に進出し、準優勝しています。
問35	2	森舞台	「森舞台」は「みやぎの明治村」の一角に建設され、設計者は隈研吾氏、鏡板は千住博氏が描きました。
問36	—	恋する	灯台の高さは12メートルで、灯台から見下ろした大須漁港がハートに見えることから「恋する灯台」と呼ばれています。
問37	—	ナノテラス	放射光施設は強力な光を使った巨大な顕微鏡で、原子レベルでの物質の構造などを見る最先端の研究施設として、仙台市の東北大学青葉山新キャンパスに令和6年度の本格運用を目指して建設中です。愛称は「微細を照らす光」から「ナノテラス」に決まりました。
問38	—	河北せり	みやぎサーモン:平成29年登録。「刺身で食べられるさけ」にこだわった高品質、高鮮度の養殖ギンザケ。 岩出山凍り豆腐:平成30年登録。弾力に富んだ硬めの歯触りと滑らかな舌触りで雑味がなく大豆の風味豊か。 河北せり:令和2年登録。可食部・茎葉長が長く、漬物やお浸しで食感が好まれる。
問39	—	杉	栗原市築館の双林寺には、本尊の木造薬師如来坐像、木造増長天立像、木造持国天立像の3体の国指定重要文化財が安置されているほか、県指定の有形文化財も2体安置されています。
問40	—	網地島	石巻市の離島の網地島は人口約300人、網地白浜海水浴場が有名です。島には「網地港」と「長渡(ふたわたし)港」の2つの港があり、石巻と鮎川から網地島ラインの定期船で行くことができます。

第12回宮城マスター検定1級試験解答と解説

番号	正解	解説
問41	— 東宮浜	七ヶ浜町の名前の由来となった7つの浜は、塩釜側から時計回りに、東宮浜、代ヶ崎浜、吉田浜、花淵浜、菖蒲田浜、松ヶ浜、湊浜です。 代ヶ崎浜港へ向かう坂道は、令和3年放送のアニメのエンディングで「七ヶ浜」を象徴する場面として放送されました。
問42	— おまくら	「安産おまくら」「子授けおまくら」は安産・子授けの神様「木花之佐久夜毘売命」のご利益を願う「小牛田のやまのかみさま」の御守りです。祈願成就には倍返しの風習になっています。「おまくら」の中身は粃殻で、稲魂のお力のもと母子健全、夫婦健全に恵まれるように祈りを込め使われています。「おまくら」の色は赤・白・青・黄色です。黒(北の玄武)はありません。おまくらの色は四神、赤(南の朱雀)・白(西の白虎)・青(東の青竜)・黄(中央の北辰)の神々から守っていただく意味があります。
問43	— 祭連	3年ぶりの開催となった令和4年の仙台・青葉まつりでは、新型コロナウイルス感染症対策のため「祭連」の参加を55団体、約1,400人に絞って行われました。
問44	— B→C→A→D	B.仙山線の開通は昭和12年(1937年)、C.仙台飛行場開港は昭和32年(1957年)、A.蔵王エコーライン開通は昭和37年(1962年)、D.仙台港開港は昭和46年(1971年)です。 B.仙山線→C.仙台飛行場→A.蔵王エコーライン→D.仙台港
問45	—  大崎市	面積の広い順番は、栗原市(約805km ²)→大崎市(約796km ²)→仙台市(約786km ²)→石巻市(約554km ²)→登米市(約536km ²)となります。なお、一番面積が小さい市町村は七ヶ浜町の約13km ² です。
問46	— 秋の山唄ー涌谷町(わくやちょう) 菱取り唄ー大崎市(おおさきし)	秋の山唄は農作業の唄であり、涌谷町が発祥とされています。菱取り唄は大崎市鹿島台にあった品井沼での菱取り作業の唄とされています。
問47	— 加美町(かみまち)	加美町は漫画家いがらしみきお氏の出身地であり、『ぼのぼの』は代表作でもあることから、加美町中新田図書館内に『いがらしみきお ぼのぼの館』をオープンしました。
問48	— 国際センター	仙台市の五色沼は、日本のフィギュアスケートの発祥の地とされています。オリンピックのフィギュアスケートで男女とも仙台ゆかりの選手が日本初の金メダルを獲得しています。荒川さんは、2006年トリノ、羽生さんは2014年ソチ、2018年平昌で連覇しています。
問49	— ①2011 ②3 ③11 ④2 ⑤46 A:栗原(くりはら) ⑥7	牡鹿半島の東南東沖を震源とし、地震の規模はマグニチュード9.0で、日本国内観測史上最大規模の地震でした。 宮城県、福島県、茨城県、栃木県などでは震度6強を観測し、北海道から九州地方にかけて、震度6弱から震度1の揺れが観測されました。
問50	— 創ーウマレル 拓ーヒラケル	気仙沼市内湾地区の新たな顔として、「迎(ムカエル)」、「結(ユワエル)」、「拓(ヒラケル)」、「創(ウマレル)」の4施設からなる『ないわん』が整備されました。